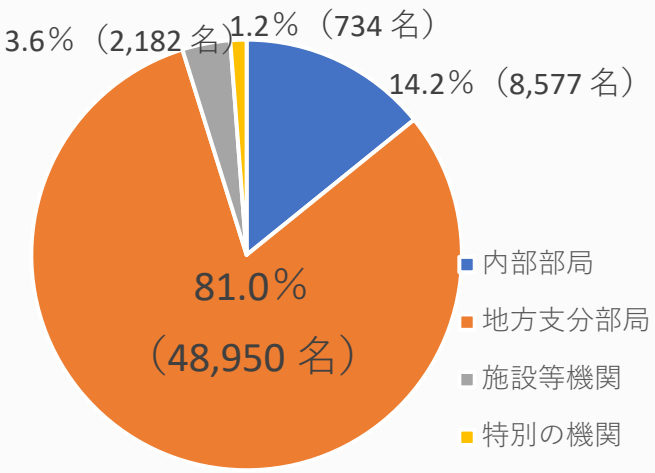
国土交通省CX（組織変革）について

国土交通省の使命と組織の特徴

- 国土交通省は「国民の命と暮らしを守る」ことを使命とし、**６万人の職員を擁する大組織**
- **全職員のおよそ８割である約4.8万人は、地方機関で勤務。離島・山間部等の生活環境が厳しい地域で勤務する職員も多数**

【国土交通省の人員構成】



【多様な職場環境で活躍する職員】

水害被災地での被害状況調査



降雪時の滞留車両への対応



山間部の官署の例
（東北地方整備局最上川ダム統合管理事務所）



離島官署の例
（大阪航空局宮古空港・航空路監視レーダー事務所）



領海の警備



- **厳しい職務環境や、民間・自治体等との人材獲得競争の激化**
- 僻地のみならず、**広域異動や、災害対応業務等による負担**
- **庁舎や官舎の老朽化**が著しく、業務上の非効率や生活の不便が発生

組織の持続可能性を確保し、必要なサービスを国民に提供し続けるために、対策に取り組む必要

組織と職員ひとりひとりが、共に成長する「選ばれる国土交通省」

○国土交通省発足２５年目を迎える２０２５年から、本省・地方機関が共同し、
「国土交通省CX（組織変革）」を順次推進

国土交通省CX(組織変革)の取組例

快適な勤務環境の整備

（主な取組例）

【老朽化した庁舎・宿舎の改修の推進】

（例）四国地方整備局　徳島河川国道事務所

BEFORE → AFTER



（例）近畿地方整備局　紀南河川国道事務所　下万呂（しもまろ）寮

BEFORE → AFTER



【オフィス改革】
ペーパーレス化によるDX推進と空間創出

（本省の例）



国土交通省CX(組織変革)の取組例

業務効率化の追求

（主な取組例）

【コールセンターの導入（本省）】

○定型的な問合せ対応を外部委託することで、政策立案等に集中



【生成AI等の利活用】

○各組織において、生成AI（源内、Copilot Chat等）を活用
　※源内大規模実証：R8.5～、Copilot Chat利用開始：R7.10～
○生成AIの基本的な操作方法から実践的な活用事例の共有を内容とした勉強会の実施

労苦に報いるための仕組みの構築

【諸手当の拡充･運用見直しによる処遇改善】

○災害応急作業等手当について、令和８年度より増額が実現

※令和８年人事院勧告において、転居に関する手当の新設等が盛り込まれた

